

# さわがせ

号数 第 3 5 4 号  
発行日 令和 8 年 1 月 11 日  
発行所 金光教 韮 教会  
〒 550-0011  
大阪市西区阿波座 2-2-10  
TEL&FAX 06(6541) 6313  
mail: utubo1905@gmail.com



令和 8 年元旦祭におかげをいただき参拝されました (1月1日)

## あら 日に日に新た

教会長 鍵 山 公 生

### お願い・お礼・お詫び

新年明けましておめでとうございます。

私たちは生まれてからそれぞれの歳になるまで、息が止まるということなく天地の神様に生かされて参りました。

金光様は「人間はみな、生まれるときに約束をしているのである。だから、家族が一人よりは二人。二人よりは三人。三人よりは五人と大勢いるほど、家庭の中に種々の難儀がある。幸いに信心をしていると、まあそれを除いていただくのであるが、下地（うまれつき）の約束であるから、また、こういうことが起きたということができてくるかも知れない。その時に、これほど信心するのに、なぜこういうことが出てくるのだろうかと思えば、もう信心はとまっている。これ



はまだ私の信心が足りないのだと思い、これはどこまでも私の勤めるべき役であると思って、信心していかなければならない。そこからおかげがいただける。これほど信心するのにと思えばもう、それきり信心の筋はとまっているのである。」と仰せになっておられます。

私たちには神様からそれぞれの人に与えられたお役目があると思います。幼少の時から両親を始め、人から教わったことや自ら勉強して身に付けた能力により、神様からのお役目は何かと気づき、神様の御心に沿い、あるいは世のお役に立つことができればありがたいことです。

しかし自分に持ち合わせた能力や体力がどこまで続いていくかは分かりませんが、精一杯神様の思し召しのまにまに、自分ながらのお役目を全うさせていただきたいものです。

天地書附に「何事も一心に願え」、「今月今日で頼めい」と短い文に「願え」・「頼め」と2箇所も印されているのは、大切なことだということが分かります。

人によって神仏に頼ったり、他人の世話にならず、自分の力ですするという気迫に満ちた方も居られますが、しかし自信は持っていても生身の人間ですから、どんな不慮に遭遇しないとも限りません。そのような難儀に遭う前に神様にお願いして、神様のお力を頂きつつ取り組ませていただくのが信心だと思います。

「自分でする」と言う者には神が見ておる。「神様させて下さい」という者には、神が手伝うて下さる」と仰ってくださる神様です。

### 信心の三要素

信心には、お礼、お願い、お詫びが付きものと言われています。

お願いは誰でもします。先日のクリスマスの日、子供がある神社の前で、「神様！ 今度はミシンがほしい！」と願っているのを横で聞いていた人が、「それはキリストの神様にお願いすることだよ、とつぶやいていた。」というのです。そのように子供でも神様にお願いすれば、自分の思い通りを叶えてくれると思って願うのでしょう。

先日もテレビの放送の中である若者が、「神さんには困ったときだけ何でも願ったらいいのだ」と気安く話していました。それはあまりにも軽はずみではないのでしょうか。やはりいい加減なお願いではかえってご無礼になるような気がします。お願いするには真剣に願うこと。そしてその結果報告をし、お礼返しもすることも大切です。



### お礼返し

そこで次に「お礼」についてですが、お礼はどのようにすればいいのでしょうか。

それは勿論お世話になった神様や人にするべきでしょう。

教祖様にある方が、「私はこれまで広大なおかげをいただいていますので、何か神様にお礼をさしていただきたいと思いますが、何を奉ったら、この神様が一番お喜び下さるのでしょうか」とお尋ねしました。教祖様は、「神様にお礼するのに物を奉ってすむのならば、これまであなたがおかげを受けられたそのお礼には、何もかも奉っても足りはすまい。神様はそんなものをお喜びになるのでもなく、また望んでおられるのでもない。あなたがおかげをいただかれたことを、神様のありがたいことを知らない世の人々に教えてあげよ。そうすれば、その人々が助けられ救われる。それが神様の一番喜ばれるお礼である。」と仰せになっています。(尋求教御録より)

神様に何もお礼をしなくてもよいというのではなく、自分として惜しみもなく、無理することもなく、分に応じた精一杯の真心を表したいものです。

また 信奉者がお届けになられたことを先生はお届け帳に記され、それが成就するまで昼となく夜となく何度も御祈念して下さいますから、結果のお届けをしなければなりません。

また、この神様に願っても御利益がないからといって、他の神様や教会に行くような、うろたえ心では神様に一心は届きませんし、神様にご無礼です。

神様はおかげを授けたいとお思いになられても、願った方がそのおかげを受け心、おかげを受ける受け物が整っていないと授かることができません。それを「おかげは和賀心(和らぎ喜ぶ心)にあり」と仰せになっているのです。

先日引き出しより信奉者からの古いお便りを見つけて目を通していたところ、ふとその頃の事を思い出しました。

ある2月の初旬のこと、信奉者のご子息が、大学入試受験が近づき、ご本人は賢明に勉強しているのですが、そのお母様としては息子のために、何かできることはないかと考え、早朝から電車に乗って教会へ参拝しておられました。

その方が列車に駆け込むように乗ったとき、見知らぬ婦人から「奥さん！ 子供さん・進学ですか」と声をかけられたというのです。その時どう応えられたかは存じませんが、たぶんその時の顔つき、様子はただ事ではなく、他の人とは何か違っ



今年も、玄関に彩られた  
教会長先生お手製の門松

た気迫があふれ出ていたのでしょう。そこまで母親としての思いは、息子の進学のことまで一心になっておられたことなのでしょう。その後子息は目的の学校に合格され、にこやかに親先生にお届けになられたのでした。

私たちは他人から品物やお金をもらったり、人からお世話になったことはよくわかるのですが、天地の神様からお世話になり、おかげを頂いていることに気づいていない人が多いのではないのでしょうか。

### 天地のお世話とは

まず命をいただいていること。次に日々たっぷりお世話になっている空気、水、食物、住居などなど、数限りなくあります。その中で我々がその費用を支払っているものと、そうでないものがあります。例えば空気や水や日光、そのお熱にも当たり前と考え、支払っていません。

またお米や作物にあつては、農家の方が汗を流しながら種を蒔き、肥料、殺虫剤、農器具代などを使って育てて下さり、それを運搬、売却などの末に私たちの手元に届くまでの労力、経費に対して支払うのですが、それらを生育させて下さった働き、一般に言われる自然の働きこそ神様のお働きです。そのお働きには全く支払っていません。それを顧みて感謝させていただくのは当然なことです。



私は朝晩、表の扉の開閉をするときに、朝には、生神金光大神様、天地金乃神様に昨夜の安眠させていただいたお礼を申し、次に「向かいの学校に対して、「学校に通う子供たち、先生方、親御さんたちが、今日も人のお役に立つ勉強をさせていただき、仕事に励まれますように」とお礼とお願いをさせていただきます。また夜には「今日も無事差し支えなく過ごさせて頂いたお礼を申します。次に、「この地域に住まれる人々を始め、この前の道路に繋がる世界の人々が、火難、盗難、不意事、不意難なく、安眠のおかげをいただき、安らかな生活ができますように。」と願います。

### お詫びということ

私たちは神様のおかげをいただいておりますながら、そのお世話になっていることにお礼もせず、当たり前にも思っております。そのことをお詫び申し上げます。そしてお礼の足りないことをお詫びするのです。これらのことを毎日、新たな心で取り組みましょう。

### 韃教会の今年の願い

- \* 一人一人に神様から与えられた役目に気づき、実行しよう！
- \* 人のお世話になったらすぐありがとうと言って感謝しよう！
- \* 毎日にこやかに、ほほえみを忘れない生活をしよう！

## 信徒会長新年のご挨拶 渡辺 秀孝

新年あけましておめでとうございます。  
信奉者の皆様には良きお年をお迎えになられました事とお慶び申し上げます。

今年は「午」年です、「午年」の人は、行動力があって、明るくて社交性があって、積極的で、困っている人はほっとけない、性格だそうです。

今年は、「人を助ける」願いを持って、それを実現する「おかげ」の年にしましょう。

皆様のご多幸をお祈りしまして挨拶とさせていただきます。



# さわかぜ賛助会

さわかぜ賛助会員として、多数の方々のご協力により、機関紙の継続させていただき、令和7年は7回の発行をさせていただくことができましたことは、誠に有り難いことでございます。

本年もより一層、皆様の機関紙としてお役に立ちたいと念願しております。

今年度賛助会員としてお申し込みいただいた方は次の方々です。(敬称略)

なお、令和7年度の収支決算報告は次ページのとおりです。

## 「愛の募金箱」 ご協力感謝！

広前に設置された「愛の募金箱」に寄付されました皆様からの令和7年度募金と、ボランティアによる古紙回収の収益金を合わせた金額は、57,429円でした。教会より補填し、日本赤十字社大阪支部へ10万円送金させていただき、青い鳥点訳グループ（点字ボランティア）へ2万円寄付いたしました。

皆様のご協力に感謝申し上げます。今年度もご協力お願いいたします。

月例霊祭日に、祥月命日の御霊様もお呼び出しして  
ご慰霊させていただきます。

ご都合お繰り合わせをただかれ、ご参拝下さい。

(1月24日・2月22日ともに午前10時30分より)



## 「世界の平和を願って」

金光教教主 金光浩道様（ラジオ放送『金光教の時間』年頭放送より）

新年おめでとうございます。昨年は戦後 80 年という節目の年でした。新しい年を迎えさせていただきましたが、今現在、とても平和とはいえない世の中になってしまっています。

普通に考えたら、みんなが笑顔で仲良くいられる幸せな世界がいいに決まっています。なのになぜ人間は争い、自然を破壊し、みんなの笑顔を奪うようなことをしてしまうのでしょうか。みんなが笑顔でいられるために、一人でも困っている人がいたら手を差し伸べることができるのが、人間だと思います。人を助けることができるのが、人間なのです。

私の好きな言葉で、「グローバルに考えてローカルに活動する」という言葉があるのですが、視野は広くグローバルに考え、そしてしっかりと地元地域に根付いた活動をするということが大切ではないかと思うんですね。

しっかりと自分の手元足元を見詰める、しかしその視野は広く持ち、今できることを考えるということです。世界を見据えておく、ということですね。

そんな世界規模の大層なことは分かりませんという方もいらっしゃるかもしれませんが、世界の平和のためにできることが、私たちにもあると思うのです。

私の祖父で、長年、金光教の教主を務めた四代金光様は、「自宅前の道の掃き掃除は、世界に通じる道を掃かせてもらうこと」とおっしゃいました。まさに「グローバルに考えてローカルに活動する」という言葉に通じるものがあります。また祖父は、歌人でありました窪田空穂先生に師事し、その生涯に 4 万首を超える歌を詠みましたが、次のような歌を詠んでいます。

「世話になるすべてに礼をいふところ平和生み出すところといはん」という歌です。「お礼を土台に」と言い続けられた祖父ですが、その先には世界の平和という大きなものを見据えておられたのですね。このような祖父の感性も、現し伝えていきたいと思わせていただいております。

自分が家庭を持った今、「世界の平和も、家庭の平和から」と神様に言われている気がします。子どもたちには、平和の大切さ、命の大切さを、しっかりと伝えていきたいと思っています。命というものを見詰めたとき、この命を生かそうとする働き、天地のお恵みというものを、切に感じさせてもらうわけですね。そし

て天地の命から、長く続く命のリレーを頂いて、今の自分があるのです。天地が生きていなければ、水も空気もなく、人間は生きていけない。もう何十億年、天地は働き続けてくださっているのでしょうか。

例えば川の流れや滝などを見て、人間が天地大自然の働きに癒やされるのは、ゆっくりと、とてつもない時間をかけて、何かをしようとしているから、かもしれない。すぐに目に見える結果を求めるのは危険なことです。神様のみぞ知る、この先の時間の流れの中で、人間の見詰める先が、そろって「平和な世界」でありますよう祈ってやみません。



↑毎年、春口典恵さんが、教会掲示板用に新春ポスターを制作されています

### 令和8年1月

11日(日) 初月例祭執行 午前10時30分  
祭典後、信徒会総会・新年会

12日(月)

～25日(日) 寒修行期間

●定時のご祈念(午前6時、午前10時)に  
参拝しましょう。

16日(金) 信徒共励会 午前10時30分

24日(土) 月例霊祭執行 午前10時30分

祭典後教話 講題「おかげを受けて生きている」  
講師：寝屋川教会長 安井光一先生

### 2月

1日(日) 月例祭執行 午前10時30分  
11日(日) うりわり墓参 午前7時  
15日(日) もちつき大会 節分豆まき 午前10時  
7日(土) ご本部月参拝 午前6時教会出発  
8日(日) 月例祭執行 午前10時30分  
20日(金) 信徒共励会 午前10時30分  
22日(日) 月例霊祭並びに

二代教会長和田こゆみ先生例年祭(55年)執行  
午前10時30分  
祭典後教話、大阪府連盟布教部講師

23日(月・休) 道の子アイススケート大会  
浪速スケート場 午後1時30分

### 3月

1日(日) 月例祭執行 午前10時30分

年間行事予定は、スマートフォンで

二次元バーコードを読み取って確認できます。→

